

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	形態機能学Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時間	後期 月・金2限	教室名	406教室
担 当 教 員	細貝 正江	実務経験と その関連資格	鳥取大学医学部および関連医療専門学校において、基礎医学(生理学)を担当し、神経生理学に関する研究を行ってきた。博士(医学)、日本生理学会評議員			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この科目では、生体の外部・内部環境からの防衛機能、感覚器官における情報と受容の処理、人体を保護し種を保存する機能から老化までを中心に学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係・形状・内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)で評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>積極的な取り組みを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚の構造と機能・皮膚の感覚受容器・皮膚感覚の種類について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ(図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 体性感覚 ・皮膚の構造と機能・皮膚の感覚受容器・皮膚感覚の種類			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	内臓感覚の受容器と認識について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ(図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・深部感覚の受容器 2. 内臓感覚の受容器と認識			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼球の構造について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ(図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 視覚 ・眼球の構造			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	視力と視野、形状認知と色覚について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ(図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・視力と視野 ・形状認知と色覚			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚の伝導路・眼球運動・眼球に関する反射について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ(図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・視覚の伝導路・眼球運動 ・眼球に関する反射			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳の構造・聴覚と聴力・聴覚伝導路について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4. 聴覚と平衡覚 ・耳の構造・聴覚と聴力・聴覚伝導路		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	平衡器官の構造・平衡覚、味覚と嗅覚・味覚と嗅覚受容器の構造について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・平衡器官の構造・平衡覚 5. 味覚と嗅覚・味覚と嗅覚受容器の構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	非特異的生体の防御機能、特異的生体の防御機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 非特異的生体の防御機能 2. 特異的生体の防御機能		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	体温とその調節		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精巣・精路・付属生殖腺の構造と機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 男性の生殖系 ・精巣・精路・付属生殖腺の構造と機能		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精子の形成について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・精子の形成		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	卵巣・卵管・子宮・膣・乳腺の構造と機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 女性の生殖系 ・卵巣・卵管・子宮・膣・乳腺の構造と機能		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	性周期・受精・胎児の発生について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・性周期 ・受精・胎児の発生		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠の成立・胎児の血液循環について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・妊娠の成立 ・胎児の血液循環		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	更年期・老年期の性機能の変化・成長と老化について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・更年期・老年期の性機能の変化 3. 成長と老化		